

# KOBE AWAY PRESS (仮)

For the Vissel Kobe fan of the Kanto living

Free!!

#7 決闘!彩の国 ~後編~ 2010.12.4 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリムゾンレッドで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮)はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮)は関東サポーター有志により自主的に制作されています。

## 赤い街の最終決戦

俺たちの愛する街はどこや!?  
俺たちの愛するクラブはどこや!?

泣いても笑っても今日が2010年のJ1リーグ最終戦。そして奇跡の大逆転残留を信じて、必ずや勝利しなければいけない大一番である。他会場の結果など今は関係ない!ヴィッセル神戸は、勝ち点3を勝ち取るのみだ!



関東在住のサポーターだけでなく、遠く地元・神戸から来てくれたサポーター、いや、日本全国から埼玉スタジアム2002に駆けつけたサポーター、そしてテレビ中継を通して魂を送ってくれる心強いヴィッセルサポーターたちよ、俺たちの理念である『絆』を信じ、集結した結託力でラスト90分間、途切ることなく鼓吹(こすい)を打ち鳴らそう!!

俺たちサポーターが出来ることは、声を嗺らし歌い、飛び跳ね、ゲーフラを天高く掲げ、緑の戦場で戦うクリムゾンレッドを身にまとった戦士たちを鼓舞激励することのみ! さあ、J1リーグ史上に残る奇跡の大逆転残留劇をゴール裏から演出し、歴史の証人になるうではないか! 「スタジアムには、ひとつになれる瞬間がある。」サポーターと戦士たちが、ひとつになった時、必ずや、その瞬間が訪れるだろう!そして、試合終了後にはピッチで激闘を繰り広げた戦友たちとトモニ、「神戸讃歌」を誇り高く歌い上げようではないか! WE ARE KOBE! 俺たちが生まれ育った港街、神戸から誕生したクラブの残留を信じて、「トモニニコウ!」

### THINK BACK 浦和

2008.3.20  
ナビスコ第1節  
@2002 0-1

嘉人、ポッティ抜きで前年アジアチャンプ挑む。浦和はリーグ戦2節消化で未勝利・未得点で早々に監督交代、お馴染みエンゲルス氏の初戦だった。開始早々、スタジアムほぼ360度からの浦和版「WARRIOR」がまだ流れている真最中、レアンドロが先制。ゴール前で須藤がマークを集め、ごぼれ玉をダイレクトで技ありドライブ。後半は浦和ペースだったが守り切って勝利。試合終了のホイッスルと同時に「350度」に静寂が訪れた雨の2002。



2008.10.18  
J1リーグ第29節  
@2002 0-1

5連勝の3勝目の試合。82分、浦和のコーナーキックがごぼれると鈴木がキープし嘉人に繋ぐ。その瞬間に鈴木、逆サイドの田中、レアンドロが一気にスピードを上げると浦和の守備は混乱。嘉人は大きく逆サイドに蹴り出すと、レアンドロが受け落ちてゴール。この試合、得点はカウンターからだったが、多彩な攻めとハードワークが奏功した試合だった。筆者はレアンドロのおいしいちゃんの左隣で観戦したのだが、「ロスタイムあと何分?」と聞かれ(た気がする)アワアワしてしまった記憶と、スタッフさんが英語で返事していた記憶、そしてみんなで肩を組み喜んだ、楽しかった思い出。

### マスコット研究所 第6回

DATA レディア(架空の動物)妻フレンジア  
こども シャーレくん、ディアラちゃん(リーグ優勝記念に誕生)



J1リーグ設立当初から存在するのだが、その正体は謎ばかり。レディアは設立当時のチーム名「三菱浦和フットボールクラブ」のアルファベットの頭文字「MUFC」を縦に並べて開発された架空の動物という、謎だ。耳の形がMというのははかろうじて分かるにしても「UFC」はどこ?謎だ。そして、試合時のスタジアムに出現することは皆無というマスコットにはあるまじきポリシーを持っているためアウェイサポがその姿を拝めることはない。なんだ、もうずっと謎のままでもいいや。

### 2010 年度日程

節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
11	ジュビロ磐田	5月 8日(土) 19:00	H ホームズ	○ 3-0	23	サンフレッチェ広島	9月 18日(土) 13:00	A 広島ビ	△ 1-1
12	セレッソ大阪	5月 15日(土) 17:00	A 長居スタ	● 1-2	24	セレッソ大阪	9月 25日(土) 15:00	H ホームズ	△ 0-0
13	FC東京	7月 17日(土) 18:30	A 味スタ	△ 2-2	25	川崎フロンターレ	10月 2日(土) 13:00	H ホームズ	● 0-4
14	大宮アルディージャ	7月 25日(日) 18:00	H ホームズ	○ 3-1	26	横浜F・マリノス	10月 17日(日) 13:00	A 日産スタ	● 0-1
15	ガンバ大阪	7月 28日(水) 19:00	H ホームズ	● 1-3	27	名古屋グランパス	10月 23日(土) 19:00	H ホームズ	● 1-2
16	鹿島アントラーズ	7月 31日(土) 19:00	A カシマ	● 0-3	28	ガンバ大阪	10月 30日(土) 16:00	A 万博	○ 4-2
17	浦和レッズ	8月 8日(日) 18:00	H ホームズ	○ 1-0	29	ベガルタ仙台	11月 6日(土) 14:00	H ホームズ	○ 2-0
18	湘南ベルマーレ	8月 14日(土) 18:00	H ホームズ	△ 0-0	30	アルビレックス新潟	11月 14日(日) 19:30	A 東北電ス	△ 1-1
19	ジュビロ磐田	8月 18日(水) 19:00	A ヤマハ	● 2-3	31	鹿島アントラーズ	11月 20日(土) 14:00	H ホームズ	△ 0-0
20	モンテディオ山形	8月 22日(日) 18:00	A NDスタ	△ 0-0	32	大宮アルディージャ	11月 23日(火) 17:00	A NACK5	△ 2-2
21	FC東京	8月 28日(土) 19:00	H 神戸ユニバ	△ 0-0	33	清水エスパルス	11月 27日(土) 14:00	H ホームズ	○ 1-0
22	京都サンガF.C.	9月 11日(土) 18:00	A 西京極	● 0-3	34	浦和レッズ	12月 4日(土) 15:30	A 埼玉スタ	○ -

# THINK BACK SPECIAL 2010 第2

## 和田監督就任～初勝利(23～28節)

昨年と同様に和田昌裕が監督を引き継ぎ、戦う姿勢を取り戻した神戸。アウェイ広島戦、ホームC大阪戦では上位相手に善戦しドローに持ち込む。しかし、深刻な得点不足は続く。和田監督就任から5試合でポポの2得点のみ。

でも、嘉人が帰ってくれきつと低迷しているチームを立て直してくれるはずと思った矢先、復帰の横浜戦で理不尽な退場。続く名古屋戦の敗戦では、ゴール裏でサポが抗議の居残りという事態に。迎えたガンバ戦、出場停止明けの嘉人が復帰するはずが、負傷がいえず欠場。さらに得点源のポポも欠場と苦しいメンバー。しかし、ガンバ相手に4-2の逆転勝利。就任6戦目にしてアウェイで和田監督の初勝利!そして、救世主登場!小川慶治朗が初ゴール。一時はどん底に落ち込んだチームがこの試合を境に生まれ変わったのだ。28節終了時6勝14敗8分け 勝点26 16位



## そして今。闘いは続く。(29～33節)

噛み合い始めた歯車は以降「無敗」がそれを示している。嘉人の負傷離脱は非常に苦しいが、今は誰が出てモクオリティは変わらない自信が選手たちにあふれている様だ。嘉人・吉田抜きの鹿島戦では互角以上の迫力あふれた闘いを見せてくれた。小川、森岡など、ワクワクさせてくれる選手の出現もあった。一方、新潟・大宮とのドローは厳しい結果であることに違いはなく、特にアウェイ大宮戦後のチームの雰囲気気を心配された。しかしホーム最終の清水戦、10人となりながらも諦めない気持ちで茂木のゴールが生み、さらに自陣では「神が降りてきた」結果、勝利!多くのファン・サポーターの見守る中でハードワークを見せてくれた我が神戸。残留の出口は見えてきた。さあ、選手たちにあと一押しを!トモニコウ。

## 編集後記



神戸サポの皆様、本当に一年間お疲れ様。弊紙を読んでくださった皆様に感謝。ひとりのサポーターとして、選手たちに要求した「ハードワーク」。自分が要求したレベルに見合うだけの「後押し」ができたのか?自問自答を繰り返す今日この頃。来年もスタジアムでお会いしましょう(べ)



2010年最後の号となりました。いきなりのお願いに快く配布許可をいただいた、各クラブ関係者の皆様。本当に各方面に尽力して下さったヴィッセル神戸のKさん。お店への設置を快くお許しいただいた各店の皆様。そして、KOBEAPをお受けとりいただいた皆様。本当にありがとうございました。(ないる)



土曜日のホーム最終戦を見に行きましたいや～なにこの緊張感。アピスパとの入れ替え戦を思い出しますwさて、あと1試合です。そしてKAPの発刊も今年はこれが最後となりました。スタジアムで読んでいただいた皆さん、ほんまありがと!そしてトモニコウ!(すた)



最終節のアウェイ戦が残留を賭けた戦いになるとは。アウェイの神戸サポを少しでも増やしたいという願いがこんな形で実現するとは。この舞台まで導いてくれた選手、監督に感謝し、最後の戦いを見届けましょう。読者、関係者の皆様1年間ありがとうございました。(ZEN)



神戸分室として派遣されたにもかかわらず、ごはん屋さんや飲み屋さんばかり開拓してきたシーズンでした。今後は神戸からの声も関東の皆さんに届けられたら!と、また飲み屋を探してまいります。まだ見ぬあなた、トモニモウ。(go)



関東のアウェイ戦に参戦するサポーターを少しでも増やそうという気持ちから創刊した本紙もいよいよ今季最終号となりました。関係者の皆さまならびに読者の皆さまに感謝致します。来季もまたスタジアムでお会いしましょう。もちろんJ1の舞台上!トモニコウ! WE ARE KOBE!! (夕)



作成にあたって色々試行錯誤しながら何とか予定どおり作成できた事、多くの方にご協力いただいた事に感謝します。紙面構成をよりよくしていく事を念頭に頑張っていきます。(ヨシコ)

## いちばんフイノジ!

フイノジはVの字。VはVISSELのV、VはVICTORYのV、そしてVはVANGUARD(前衛)のV。ヴィッセルを支える前衛たるサポーターの皆様にも少しでも楽しんでいただけたならば幸いです。またこのような機会を与えてくださったAPに感謝します。これからもトモニコウ!



✓ <b>トップチーム</b>	<b>1</b> GK 榎本 達也	<b>28</b> GK 嘉味田 隼	<b>29</b> GK 紀氏 隆秀	<b>30</b> GK 徳重 健太	<b>2</b> DF 小林 久晃
<b>4</b> DF 北本 久仁衛	<b>5</b> DF 河本 裕之	<b>14</b> DF 宮本 恒靖	<b>15</b> DF 大屋 翼	<b>23</b> DF 近藤 岳登	<b>25</b> DF 石櫃 洋祐
<b>33</b> DF 富田 大介	<b>6</b> MF エジミウソン	<b>7</b> MF 朴 康造	<b>8</b> MF 松岡 亮輔	<b>10</b> MF ボッティ	<b>11</b> MF ポポ
<b>16</b> MF 楠瀬 章仁	<b>17</b> MF 吉田 孝行	<b>18</b> MF 田中 英雄	<b>20</b> MF 森岡 亮太	<b>24</b> MF 三原 雅俊	<b>9</b> FW 我那覇 和樹
<b>13</b> FW 大久保 嘉人	<b>19</b> FW 有田 光希	<b>21</b> FW 茂木 弘人	<b>26</b> FW 高橋 祐太郎	<b>27</b> FW 都 倉 賢	<b>31</b> FW 小川 慶治朗
<b>32</b> FW 三島 康平	<b>34</b> FW イ ジェミン	<b>35</b> FW 永井 謙佑	<b>VISSEL KOBE 2010</b>		

### KOBE AWAY PRESS (仮)

PDF版ダウンロード

<http://kobeap.net/>

発行: KOBE AWAY PRESS (仮) 編集部



### ✓ KOBE AWAY PRESS (仮) からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS (仮)を他のお友達にすすめたいという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESS (仮)のPDF版ダウンロード、および KOBE AWAY PRESS (仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。



このKOBE AWAY PRESS (仮)を受け取ったら、その場で捨てないでお家まで持ち帰ってね!

Keep clean